

中学 1 年 理科 「地域の防災」

自分の住んでいる場所にはどんな災害があるのかを調べ、その災害に備えようとする

學習展開（2時間）

1年理科の学習を通して、地震や火山、それにと
なう災害について学習した。

では、自分の住んでいる場所にはどんな災害の危険性があるのか、そして危険があるなら被害を減らすためにどんな備えをしたらいいのか？自分や家族やまわりの人たちが少しでも安心、安全に過ごせるように調べてみる。

方法

- ・市のハザードマップで危険性について調べる。
- ・図書館の災害に対する備えの本を使って、自分の住んでいる場所で考えられる危険性への備えを調べる。

指導のポイント

- ・地図を読みとることを苦手とする生徒がいるので、まず、自分の家が校区のどこにあるのかを地図上に記録させた。
- ・オクリンプラスでワークシートや地図、パスファインダーを配布し、記入したものを提出させた。
- ・ワークシートに、あらかじめ調べる危険を市のハザードマップに合わせて決めておくことで、生徒の調べる事柄が明確になるようにした。
- ・危険の大きさも、入力する例を書いておくことで調べやすくした。

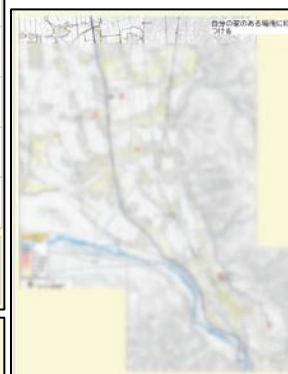


パスファインダー →

↓ワークシート

自分の家のある場所はどんな危険性があるのかハザードマップで調べ、その危険性にどう備えていけばいいかも調べる。		
調べる危険	予想される危険の大きさ	危険にに対してするといくばくは？ ※本やWEBで調べる
洪水でどのくらいの高にまで浸水する？	一箇所分がつかかる程度	土のう・水のうを設置 →倒滑・排水溝を掃除
予想される最大の震度は？	震度6強	備蓄を用意 →避難所の確認
予想される液状化の危険性は？	中	家族との連絡手段
予想される建物が全壊する率は？	5%以上7%未満	防犯バググ →非常用トイレ

※ここに参考にした本やWEBページを記録する。
 著 三すくずる天気の話 防災の超図鑑 荒木健太郎 KADOKAWA p94~



ふり返り
ハザードマップで調べたら自分の家にもどんな危険性のある場所
があったか？今後、どんな備えをしていきたいかと考えたか？

自分の家の場所の危険性は、震度6強程度、洪水は一階部分がつか
る程度、液状化の危険性は中などのことがあることがわかりまし
た。そのために備えなきゃいけないことは、防災バッグの用意、
避難所の確認、家族との連絡手段の確認、側溝・排水溝の掃除など
とあることを知りました。

学校図書館との関わり

- ・防災、災害、気象、地震に関連する図書資料を市内図書館ネットワークを活用して収集し、提供した。
- ・白山市ホームページにあるハザードマップなど関連 web サイトを事前に調べ、パスワードにまとめて提供した。
- ・図書館での調べ活動中、個別にサポートを行った。